

## 研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項（情報公開用）

試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

- ・研究課題名：気管支鏡検査の肺癌組織採取における診断と遺伝子異常解析に影響を与える因子の検討
- ・目的：気管支鏡検査による良質な組織検体採取に対して影響を与える因子を評価する。

・研究期間： 承認日 ~ 2023年 3 月 31 日

・研究対象：2018 年 4 月 1 日 ~ 2022年 6 月 30 日

利用し、又は提供する試料・情報の項目

：患者背景（年齢、性別、合併症、既往歴、病期分類、病変の部位、病変の大きさ）、気管支鏡（検査日時、術者、内視鏡機器、検査時間、追加検査（ガイドシース気管支腔内超音波断層法EBUS-GS、超音波気管支鏡ガイド下針生検EBUS-TBNA、迅速細胞診ROSE、仮想気管支鏡Virtual Bronchoscopic Navigation）など）、診断（病理学的組織診断、病理学的細胞診断、免疫生化学的診断、遺伝子異常、PD-L1検査）、検体（固定時間、保存方法）

利用する者の範囲

：埼玉医科大学国際医療センター 呼吸器内科 毛利 篤人

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

：埼玉医科大学国際医療センター 呼吸器内科 毛利 篤人